

# まちかどトーク【赤丸地区】

## 地区の現状と 今後のあり方について

高岡市 生活環境文化部 地域課 令和8年3月7日

### 地域活動

獅子舞やお神輿



通学時の見守り



防犯パトロール 資源回収



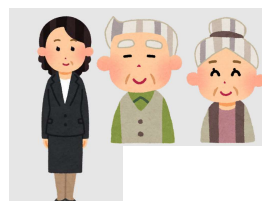
町内の清掃



生活道路の除雪



高齢者の見守り



除草



# 地域活動の目的

目的

## 地域の暮らしを支えること 「地域」と「行政」が協力

住むエキスパート  
暮らすエキスパート

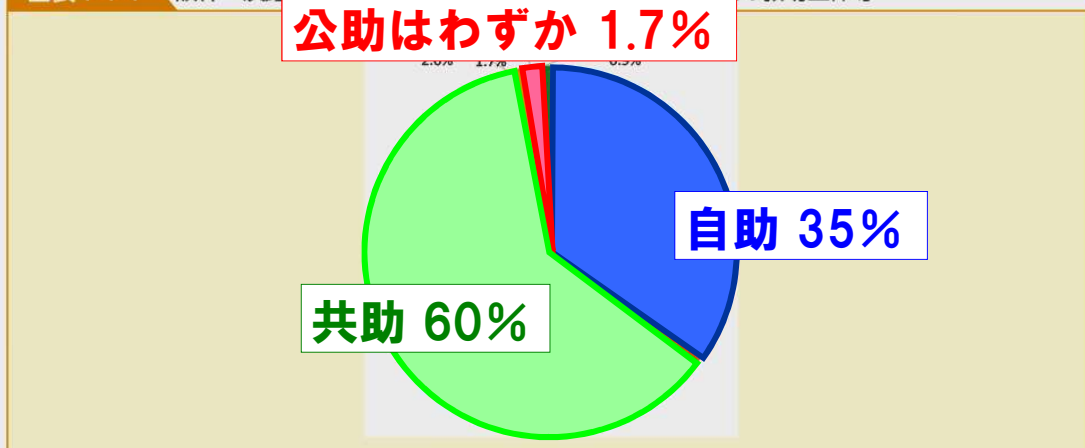
大切なパートナー

誰よりも地域の実情に詳しい！

3

# 阪神・淡路大震災の救助主体

図表 1-1-1 阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助主体等



出典：(社)日本火災学会 (1996)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より内閣府作成

4

## 地域、自治会の実情

**担い手不足**が顕在化  
**負担感**が増している

- 婦人会、老人クラブ、青年団、子ども会の解散がとまらない
- 自治会の加入率が減少 高岡市77%（10年で10%減少）

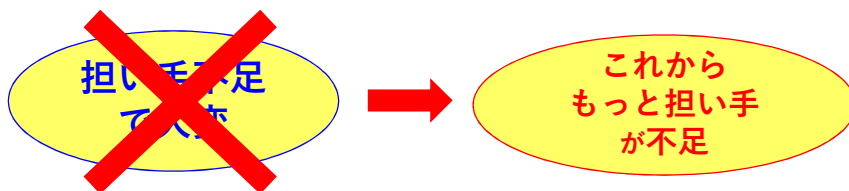
自分たちだけで活動できなくなってきた

5

## 少子高齢社会

とくに

少子化 ⇒ 人口減少 が問題



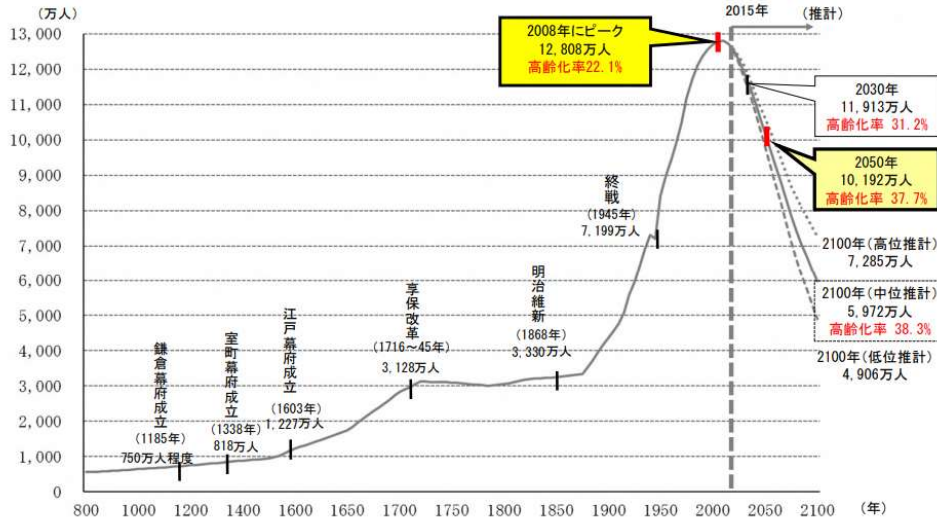
さらに

人口急減が大問題

今までどおりでは  
維持できない

6

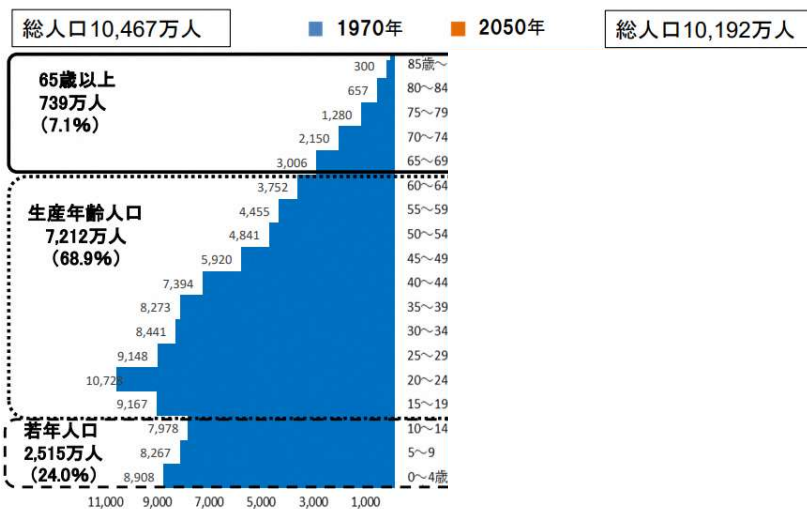
# 日本の総人口は2050年に2割減少



(出典) 1920年までは、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、1920年からは総務省「国勢調査」。なお、総人口のピーク(2008年)に係る確認には、総務省「人口推計年報」及び「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」を用いた。2020年からは 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」を基に作成。

7

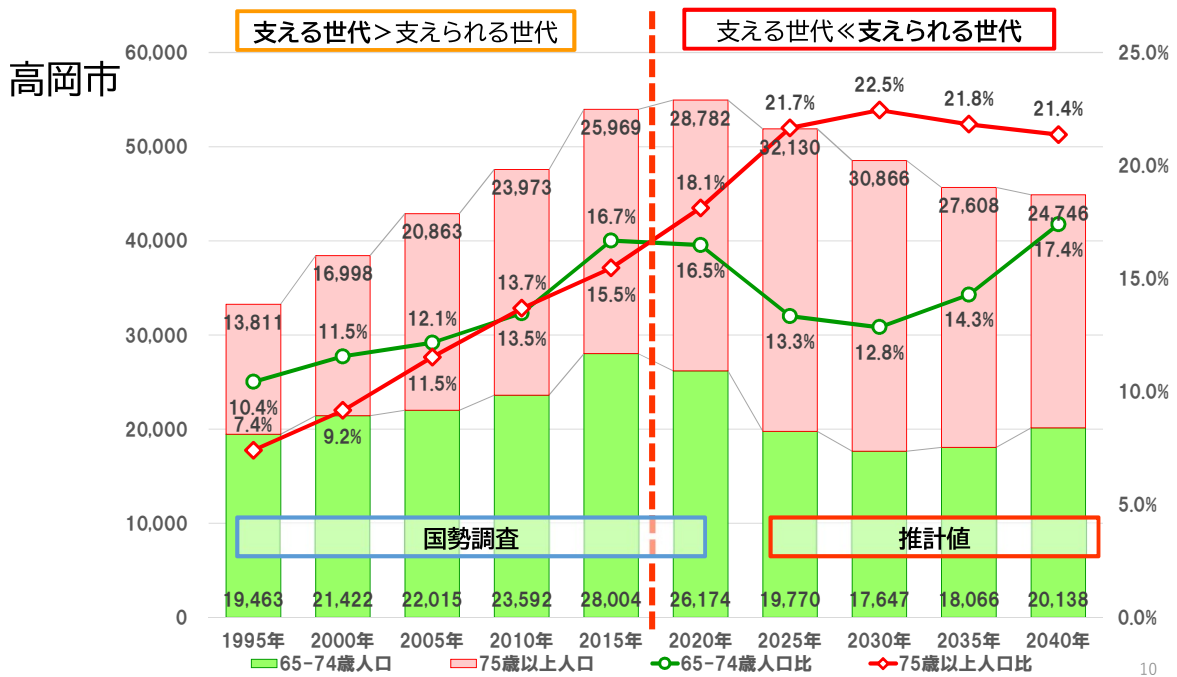
# 約1億人の国土でも、年齢構成が大きく変化

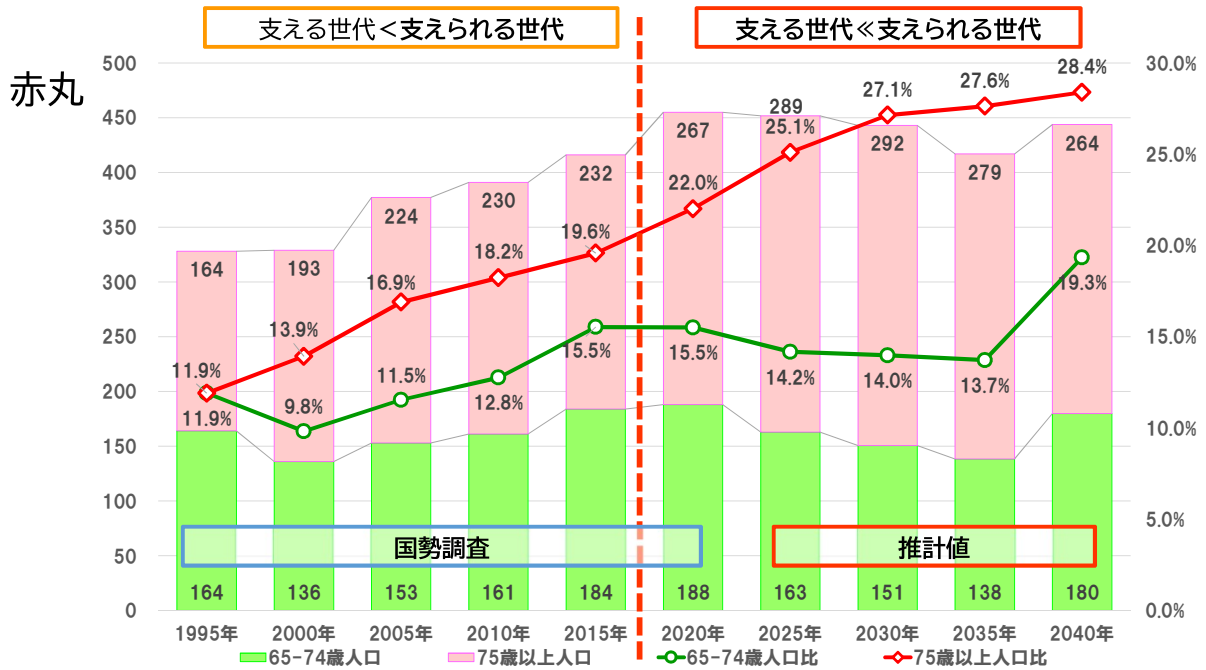


出典) 1970年は総務省「国勢調査」  
2050年は国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計(平成29年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果  
国土交通省作成資料

8

# 75歳以上の3割、85歳以上の6割が要介護





11

## 地域を支える側の前期高齢者が減少 核家族化、定年延長

でも・・・

## 組織や行事は従来のまま

12

今までとこれからは違う

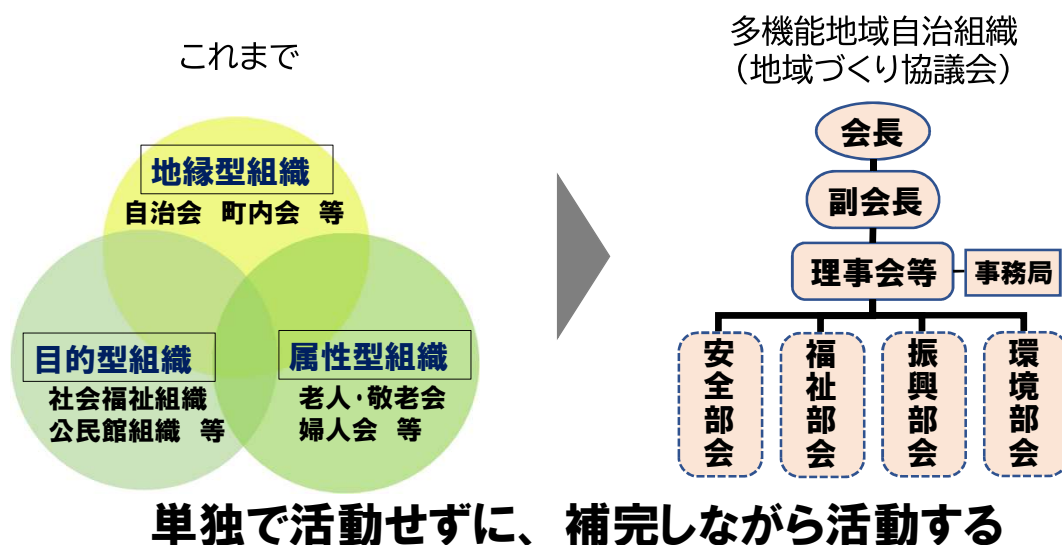


## 地域活動の効率化

まとめてできることは、まとめてやる  
ついでにできることは、ついでにやる

13

## 多機能地域自治



14

## 事業やイベントの見直し/整理(重ね合わせ)

主体	4月	5月	6月	7月	
自治会	総 総会	草刈り	資 資源回収		担架運び、放水的当てを種目に加える 炊出し訓練の代わりに芋煮会
自主防災	総会			防災運動会 防災訓練	
防犯組合	総会 総会				合同開催 収益は按分
交通安全	総 総会			合同開催	
消防団		総会		研 研修	見 見回り
PTA	総会		資源回収		
児童クラブ	総会		資源回収 回収		合同実施

## 地域運営の見直しで重要なこと

活動の目的や意味を共有

高齢者や今の担い手から  
若い世代に伝える

地域の将来や課題を話し合う

ポイントは女性や若者、  
子育て世代の参画

今の時代にあったやり方に変える

住民の声を捉えて、  
活動に反映

できるところから見直し

やってみる  
試してみる  
ダメならやり直してみる

16

# 現状維持 || 次世代への負担増

現状のやり方・仕組みを変えないことは  
**次世代の負担を増やし続けること**と同じ

17

## 今、もとめられている地域づくり

人口減少 ▶ 担い手が減ることは不可避

単純に新しい活動等を増やす ではなく

**活動や事業の見直し・再編**

地域運営の見直し無しに  
持続可能な地域コミュニティは実現できない!

18

---

**ご清聴ありがとうございました**

---